

平成六年度の一般会計当初予算は、前年度当初予算に比べて一・二%減の百四億一千八百万円でスタートしました。その主なものは、白井小学校建設事業、平成四年度から継続して進めてきたしろね大鳳と歴史の館建設事業などです。

その後、いろいろな行政需要にこたえるため、四回の補正を行いました。追加補正額は、七億一千五百八十三万円で、このほかに、前年度から、使途を明らかにして繰り越した繰越明許費一億七千五百六十三万円を加えた一般会計予算額は、百十三億九百四十六万四千円となりました。

追加補正した主な事業は、国の総合経済対策に伴う緊急地方道整備事業、臨時地方道整備事業、平成三年度から実施している農村基盤総合整備事業、白井小学校屋内体育館建設事業などです。

歳入では、個人市民税所得割や法人税割の現年課税分を追加補正。これに伴う普通交付税の減額補正を行ったのをはじめ、前年度繰越金、臨時地方道整備事業にかかる市債の追加などを行いました。

予算全体の執行状況は、予算総額に対して、収入済額が七十四億六千

# 予算総額は 113億946万円に

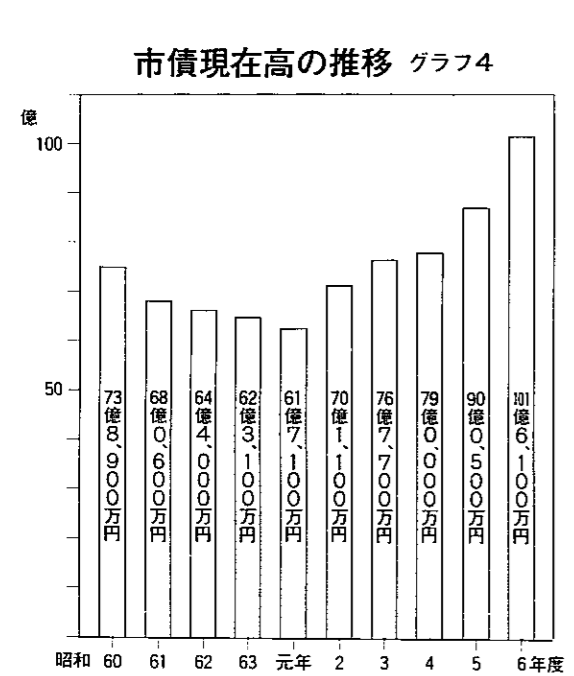
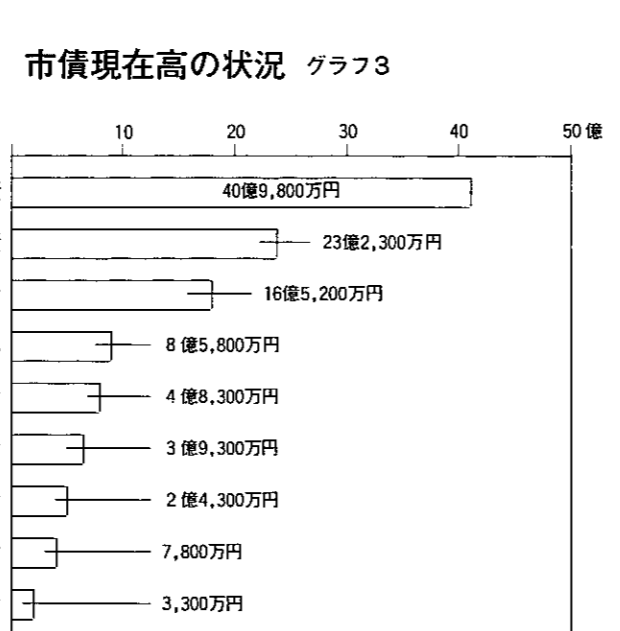
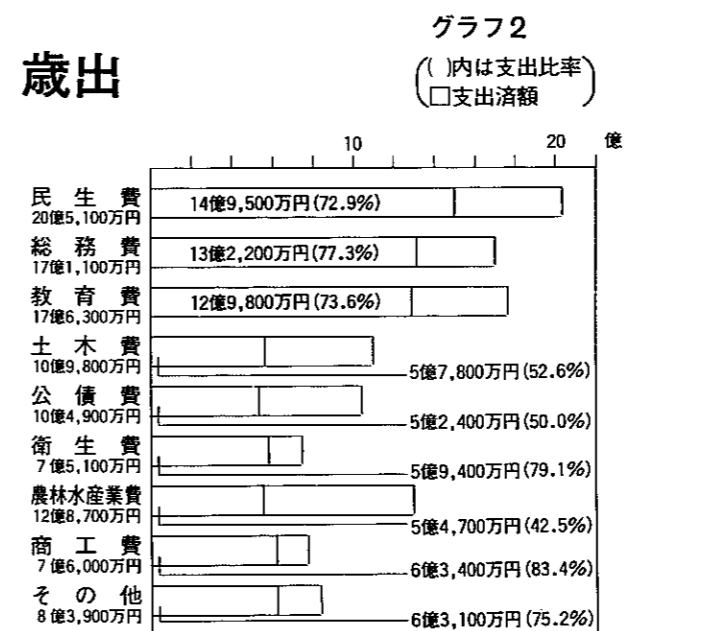
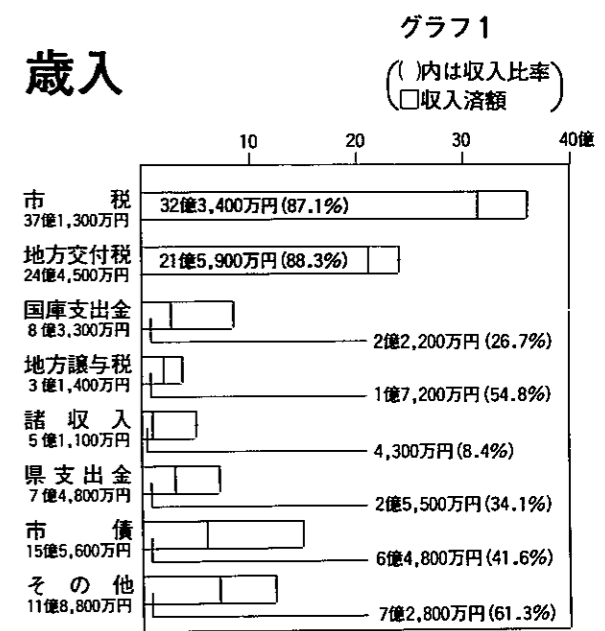
## 平成6年12月31日現在 財政状況

五十万円(六六・〇%)、支出済額が七十六億二千八百四十四万円(六七・四%)となっています。

グラフ3、4は市債(市の借入金)の現在高の状況と、推移を表しています。グラフ3の市債現在高(見込み)の状況では、教育債が最も多く四十億九千八百万円となっています。

主なものとして白井小学校校舎棟、屋内体育館建設事業債などがあります。次いで多いのが、土木債です。主なものは、一の町下江線道路改良工事をはじめとする臨時地方道整備事業債などです。また、過去十年間の市債現在高の推移を表したグラフ4では、平成六年度の市債現在高(見込み)は百一億六千九百万円、前年度に比べて約十二億円ほど上昇しています。これは、白根北中学校、白井小学校、白井保育園の用地取得事業債、大鳳と歴史の館建設事業債などの借入れを行ったためです。

市では、今後とも長期的な見通しに立って、計画に沿った財政運営に努めていきます。また、経費の徹底した削減を図り、財政の健全化を推進するよう努力していきます。市民の皆さんのより一層のご理解とご協力をお願いします。



## 平成6年度の 主な建設事業

- しろね大鳳と歴史の館建設事業 6億4,189万円
- 県営地盤沈下対策事業負担金 7,600万円
- 道路橋梁整備事業 3億4,772万円
- 白井小学校建設事業 8億5,912万円
- 都市下水路施設整備事業 7,474万円
- 農林水産業総合振興事業 6,942万円
- 白根総合公園整備事業 2,000万円
- 農村総合整備モデル事業 2億4,284万円
- 公共下水道基本構想委託事業 900万円
- ほ場関連農道整備負担金 7,046万円

## グラフの用語説明

**(歳入)** (市税) 市民税、固定資産税、都市計画税など市民が市に納めた税金 (地方交付税) 所得税、法人税、酒税など国税の一部が市町村の財政力に応じて交付されるもの (国庫支出金・県支出金) 国・県が公益性があると認めて支出するお金 (諸収入) 市が産業振興のため融資しているお金の返済金など (地方譲与税) 国税のうち、そのまま地方公共団体に譲与されるもの (市債) 市が資金調達のために借入金

**(歳出)** (民生費) 老人福祉、児童福祉、社会福祉などに使うお金 (教育費) 学校教育、社会教育などに使うお金 (総務費) 公文書の管理、選挙、統計調査など市役所の仕事を円滑に行うために使うお金 (農林水産業費) 農業振興のために使うお金 (土木費) 道路、橋、公園など将来に残る施設を建設するために支出するお金 (衛生費) 健康診断やごみ処理など衛生関係に使うお金 (商工費) 中小企業振興事業などのために使うお金